

木曾三川だより

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>

国土交通省中部地方整備局
木曾川下流河川事務所

管内NO.142 2016.7

水面利用のマナー向上に向けて ～合同パトロールを実施しました～

木曾三川下流部では水面利用のニーズが高く、近年は特に水上バイクの利用者が増えており、今年6月には水上バイクがゴムボートに突っ込んで子供2名がお亡くなりになるなど事故やトラブル、漁協関係者や地域住民へ影響を及ぼす問題が多発しています。関係自治体、警察、レジャー関係者、漁協関係者、国土交通省等からなる木曾三川下流部水面利用協議会では、水面利用者のマナーや安全利用の向上を目指し、合同パトロールを年3回実施しています。

7月10日（日）には、本年度2回目の合同パトロールを実施し、水面利用者がお互いに気持ちよく河川利用ができるよう、安全利用ルールの確認、マナー向上のお願いなどの周知活動を行いました。



押付地区の最近の状況

押付地区とは（桑名市長島町押付）
木曾川の下流部に位置し、スロープ状になっている事から近年特に水上バイク利用者が増加。不法投棄や騒音、苦情等、利用者マナーが問題になっています。

押付地区（木曾川右岸）の河川利用マナーの悪化に伴い、従来は出入りが自由であった出入り口を鍵で締め切り、利用者へ鍵を貸し出すことでマナーアップ向上に取り組んできましたが、ゴミ投棄や出入り口の鍵の破損、地域住民からの苦情等が増加しています。国土交通省ではパトロールを強化していますが、このままの状態が続くと更なる対応を検討せざるを得ない状況にあります。河川利用はルールを守ってご利用頂くよう切にお願い致します。

【最近の苦情】

H28.6 苦情

悪ふざけで火柱をあげている。
鉄橋に上っている人がいる。

H28.7 苦情

夜中に水上バイクの空ぶかし。
民家へ向けてロケット花火。
神社の手洗い場で体を洗っている。



バーベキューゴミの投棄

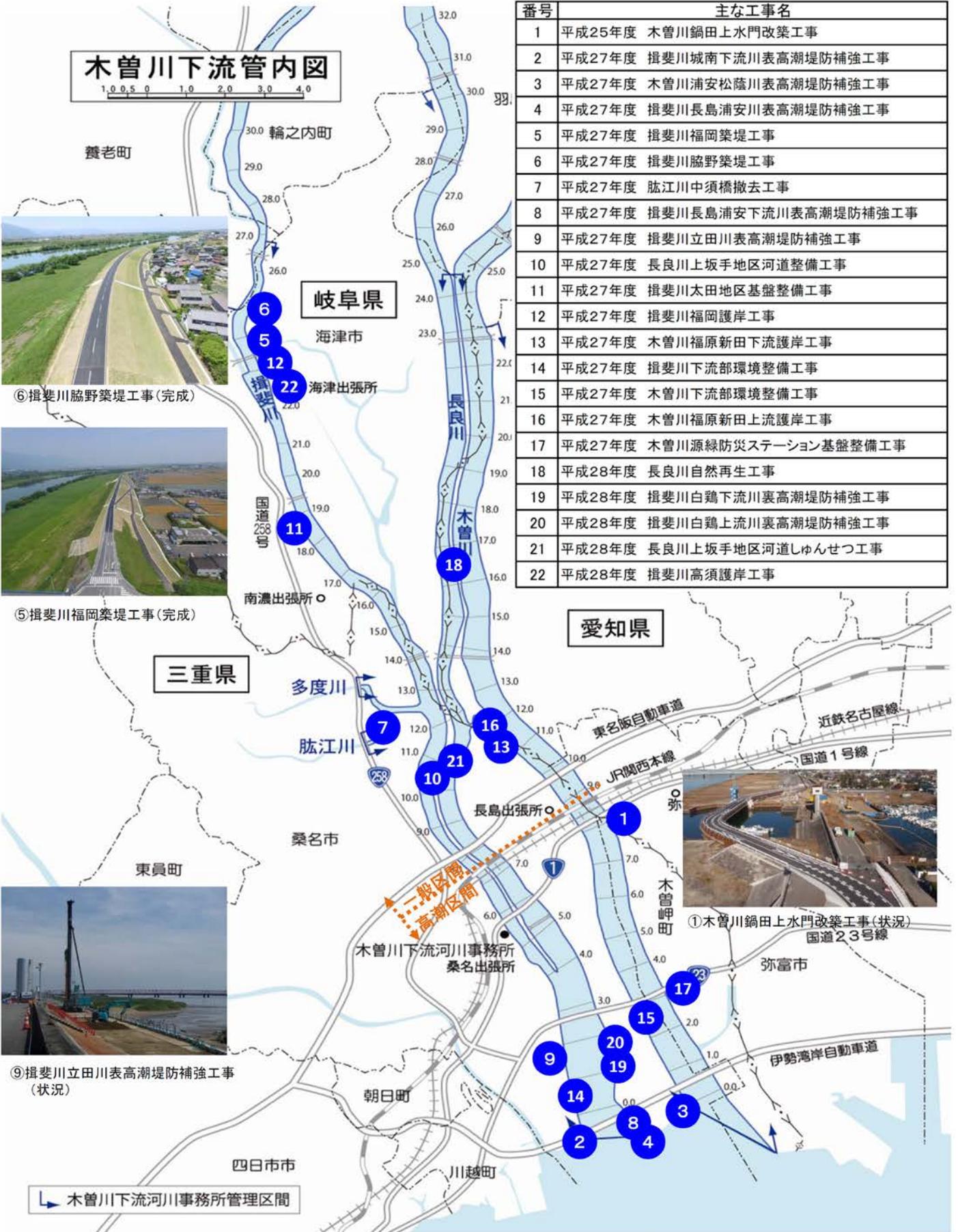


切断された南京錠

平成28年度の主な工事を紹介します

木曾川下流管内図

1.0 0.5 0 1.0 2.0 3.0 4.0



番号	主な工事名
1	平成25年度 木曾川鍋田上水門改築工事
2	平成27年度 揖斐川城南下流川表高潮堤防補強工事
3	平成27年度 木曾川浦安松蔭川表高潮堤防補強工事
4	平成27年度 揖斐川長島浦安川表高潮堤防補強工事
5	平成27年度 揖斐川福岡築堤工事
6	平成27年度 揖斐川脇野築堤工事
7	平成27年度 肱江川中須橋撤去工事
8	平成27年度 揖斐川長島浦安下流川表高潮堤防補強工事
9	平成27年度 揖斐川立田川表高潮堤防補強工事
10	平成27年度 長良川上坂手地区河道整備工事
11	平成27年度 揖斐川太田地区基盤整備工事
12	平成27年度 揖斐川福岡護岸工事
13	平成27年度 木曾川福原新田下流護岸工事
14	平成27年度 揖斐川下流部環境整備工事
15	平成27年度 木曾川下流部環境整備工事
16	平成27年度 木曾川福原新田上流護岸工事
17	平成27年度 木曾川源緑防災ステーション基盤整備工事
18	平成28年度 長良川自然再生工事
19	平成28年度 揖斐川白鷺下流川裏高潮堤防補強工事
20	平成28年度 揖斐川白鷺上流川裏高潮堤防補強工事
21	平成28年度 長良川上坂手地区河道しゅんせつ工事
22	平成28年度 揖斐川高須護岸工事

木曾川下流河川事務所管理区間

平成28年度の事業方針

○高潮区間については、高潮堤防補強工事に伴う鍋田上水門の改築工事を引き続き実施します。

一般区間については、揖斐川右岸太田地区において、引き続き、用地取得を進め、堤防整備工事を促進します。また、揖斐川左岸福岡・高須地区等において堤防整備を進めるとともに、木曾川左岸森川地区において堤防の嵩上げ・拡幅・護岸工事を引き続き実施します。また、長良川において河川整備計画流量に対応した河道掘削を引き続き実施します。

○地震・津波対策については、引き続き、堤防の耐震対策（液状化対策）を実施します。また、河川防災ステーション整備において、木曾川源緑地区の整備を実施します。併せて、危機管理対策として防災ネットワーク構築に向けた具体的な取り組みを進めます。

○河川整備計画の理念に則って、河川の維持管理及び河川環境整備事業を実施します。引き続き、自然再生計画に基づく干潟再生及びヨシ原再生を実施します。

○不法係留船対策に係る計画に基づき、引き続き、不法係留船の撤去措置を実施するとともに、早急な対応が必要な不法係留について随時対応します。

○国営木曾三川公園基本計画に基づき、桑名七里の渡し公園地区の整備及び（仮称）大江緑道の用地取得を引き続き実施します。

土木を身近に感じた見学会 （愛知県立海翔高等学校 環境防災コース1,2年 現場見学）

普段は地道な仕事で花形とはいにくい除草工事ですが、(株)川瀬組は体験型の見学会とすることで、楽しく学びながら維持工事を身近なものに感じさせたようです。

6月9日弥富市小島町で、海翔高校 環境・防災コース1,2年生の21人が体験型の現場見学会に参加しました。

3つの班に分かれ、①リモコンで大型草刈機を操作しての除草 ②トータルステーションで400m先の看板までの距離を測定 ③土のうを作成し、土のうを積む作業のそれぞれを体験。雨が上がった後の強い日差しが照りつける中、高校生達は生き生きとした表情で作業を行っていました。

その後のアンケートでは、ほとんどの生徒が現場見学会を満足だったと評価し、「リモコン操作や、土のう作りをまた行ってみたい。」という感想や、「建設業は津波による被害を抑えるために様々なことをしている。自分たちの地域が守られているのは、こうした人たちの働きによっている。」という意見がありました。見学会を通して、高校生達は、土木を身近なものに感じたようです。

この見学会を企画した(株)川瀬組の現場代理人も手応えを感じ、「やって良かった」と感想を述べていました。



熊本地方へTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣

平成28年4月14日、16日に発生した震度7の地震を受け、木曾川下流では、以下の支援のため、現地に職員や待機支援車を派遣し、活動を行いました。

土砂災害対策アドバイザー



阿蘇大橋地区の行方不明者捜索に関し、消防・警察等が安全に作業できるように地震後や降雨後の斜面の状態について助言を行いました。

土砂災害に関する緊急調査



西原村において、土砂災害に関する緊急調査を実施し、亀裂や崩落、段差がある箇所への応急復旧に関するアドバイスを行いました。

リエゾン「組織間の連絡、連携」



阿蘇郡西原村において、村からの要望を聞き取り、災害対策本部への情報の受け渡しを行うと共に、大臣視察時等には、村長のサポートを行いました。

待機支援車の派遣



嘉島町役場職員及び災害派遣自治体職員の休憩場所として待機支援車を派遣しました。

「こころの健康づくり講演会」を開催（非常時のメンタルヘルスケアについて）

台風や地震、火山活動などにより、災害が発生した場合、そこに生活する人々の「こころ」にも大きな爪痕を残します。

私たち国土交通省職員は、そのような現場で復旧活動を行うこととなります。また、地域で大きな災害が発生した場合には、近隣の自治体の方々には、被災者でありながら、支援者として業務を行うこととなります。

このような大規模災害が発生した現場では、まず自分自身が「こころ」に備わっているレジリエンス（回復力）を引き出しながら、業務を遂行することが必要となります。



講師の清水先生による解説

また、災害に見舞われた方々に対しては、単なる業務的な支援だけでなく人道的、支持的、実質的な支援を行いながら、復旧活動、支援を行うことが求められます。

7月12日（火）に実施した本講演では、「自分自身のレジリエンスを高めるためにはどのようなことをしたらよいか」「PFA（サイコロジカル・ファースト・エイド＝心理的応急処置）と呼ばれる大規模災害等に見舞われた方々に対する心理的支援とはどのような方法か」について、PFAに詳しい産業カウンセラーの清水先生に講演いただきました。

講演会には、当事務所の呼びかけに応じ、国土交通省職員だけでなく近隣の自治体職員なども多数聴講され、関心の大きさを感じました。



ロールプレイングによる知識の習得

「木曾三川だより」問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 木曾川下流河川事務所

〒511-0002 桑名市大字福島 465 TEL0594-24-5715 FAX0594-21-0893